

授業科目名 <英訳>	民俗学Ⅰ Folklore Studies I			担当者氏名	人文科学研究所 助教 菊地 暁		
群	人文・社会科学系科目群		系列	地域・文化系（基礎論・人類）			
旧群	A群		単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態 講義
開講期	前期	曜時限	水4		配当学年	全回生	対象学生 全学向
【授業の概要・目的】							
<p>民俗とは、普通の人々が日々の生活のなかから創り上げ、受け伝えてきたコトバ、モノ、ワザといったものの総体である。そして民俗学とは、そのような民俗を、文献には決して書き残されることのなかった普通の人々の歴史を探る糸口として発見した学問である。本講義は、民俗学の目的と方法を、その創始者・柳田国男（1875 - 1962）の学問的生涯に即して概略した上で、衣食住、経済制度、社会制度、等々の個別分野を論じる予定である。</p>							
【授業計画と内容】							
<ol style="list-style-type: none"> 1．使用上の注意 2．柳田国男の生涯 3．民俗学の方法 4．たべる - 食 - 5．すむ - 住 - 6．きる - 衣 - 7．生活史作成の注意 1 8．はたらく - 生産・生業 - 9．はこぶ - 交通・運輸 - 10．とりかえる - 交換・交易 - 11．生活史作成の注意 2 12．つどう 1 - 血縁 - 13．つどう 2 - 地縁 - 14．つどう 3 - 社縁 - 15．まとめ 							
【履修要件】							
人生儀礼、祭礼芸能、口頭伝承を扱う「民俗学B」は来年度開講の予定である。							
【成績評価の方法・基準】							
授業中に課すミニ・レポートおよび期末レポートによって評価する。							
【教科書】							
使用しない							
【参考書等】							
<p>（参考書） 菊地暁 『柳田国男と民俗学の近代 奥能登のアエノコトの二十世紀』（吉川弘文館） 菊地暁（編）『身体論のすすめ』（丸善） 高取正男 『日本的思考の原型』（講談社現代新書） 授業中に随時紹介する。</p>							
【その他（授業外学習の指示・オフィスアワー等）】							
<p>民俗学とは、どこまでも具体的な事実の積み重ねから、私たちの日々の現実を成り立たせている歴史的＝社会的な関係のありかたを考え、そうした関係とともにある私たち自身について考える学問である。したがって、取り扱う対象は限りがない。知的好奇心の旺盛な受講生を歓迎する。</p>							